



議長あいさつ



議長:篠澤惺子

コロナに負けず頑張る覚悟で1年間(含予定)運営委員会6回、議長会3回、役員会9回と全体会1回を開催し、課題解決に向けて準備をしてきました。しかしコロナの猛威には打ち勝てず、全部会の事業をやむなく中止という苦渋の決断をせざるを得なくなってしまいました。情報部会の広報紙発行が実施でき、各部会の窮状を伝えられそうです。コロナが収束することを願いながら、総会の準備に取り組んでまいります。

今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

地域教育会議とは?

地域教育会議のめざすもの「子どもがいきいき育つまち、おとも楽しく学べるまち」

行政区地域教育会議

行政区における子どもの豊かな成長の支援や生涯学習の推進を行う組織として、行政と地域の連携を進めながら、広く地域における教育活動を行っています。また、中学校区地域教育会議の支援と補完を行っています。

委員構成

次のような子どもに関わる機関・団体と住民委員が緩やかなネットワークを活かして活動します。

町内会
自治会

PTA
関係者

学校
教職員

子ども文化
センター職員

社会福祉
協議会委員

住民委員

青少年教育
施設の職員

保育園の
職員

区役所の
職員

青少年
指導員

など

宮前区地域教育会議

各中学校区地域教育会議

※地域教育コーディネーター

子ども部会
(子ども会議)

研究部会
(教育を語るつどい)

情報部会
(こみゅにけーしょん)

中学校区連携交流部会
(21研など)

※地域教育コーディネーター

各中学校区で活動。学校と地域をつなぐ橋渡し役として、教育委員会から委嘱を受けた方。現在宮前区内8中学校区のうち1中学校区で設置済み。4中学校区で令和4年度設置予定。

今年度はそれぞれの部会で以下の企画をしていました。ギリギリまで計画実行へ向けて準備していましたが、感染拡大のためやむなく中止になりました。残念ですが、来年度もいろいろと計画していく予定です。

2月19日(土) 教育を語るつどい「朗読劇 親の顔が見たい」DVD鑑賞&意見交換

2月23日(水) 中学校区連携交流部会主催イベント(地域の清掃&交流会)

2月23日(水) 宮前子ども会議 シャベリ場「みんなで話そう!学校あるある」

コロナ禍で企画断念!!

各中学校区の活動紹介(令和3年度)

コロナ禍でもできることを考え活動されています

向丘中学校区

高林 徹 議長

最大行事の「ふれあい音楽祭」が中止となり、今年度は2つの活動を実施しました。

- ◆11/9に青少年健全育成懇談会として「教育談議カード」を実施し、2つの設問について活発な議論が行われました。
- ◆1/20に「子ども会議」を実施しました。

テーマは「私たちが地域や学校のためにやっていること・できること」例年であれば当番校に他の4校から生徒・児童が集まるのですが今回はGoogleミートを使ったビデオ会議で各校を結んで実施しました。



宮崎中学校区

近藤 宣雄 議長

「出来る事に挑戦しよう!」私たちのコロナ禍に於けるテーマです。

- ◆これまで20年近く行ってきた「宮崎中学校フェスティバル&あったかまつり」のダイジェスト版を作りホームページに載せました。広報紙「萌」では新たに諸団体の紹介コーナーを設けて地域の子ども関係団体のコーディネートに挑戦し始めました。



菅生中学校区

生駒 みを 議長

◆コロナ禍にて、実施できたのは稗原と菅生の両小学校の学習支援です。2年生を対象にボランティアが子どもたちのかけ算九九を一人ひとり聞いて、算数、数学の基礎となるかけ算力の定着を図ります。

子どもたちは緊張しながらも達成できて大喜びし、聞く立場の大人も子どもの頑張る健気な姿に感激でした。

- ◆3月6日には小学生以下の子どもたちが地域の公園や施設を周りながら遊べるスタンプラリーを準備中。どうか感染が収まり実施できますように。



平中学校区

椿 雅美 議長

コロナ禍で今年の平地教は何ができるか?! 模索しながらの1年。

- ◆今年度の「子ども会議」は、子どもたちに導入されたGIGA端末を利用し、向丘小学校6年生児童と平中学校生徒での「オンライン子ども会議」を2月25日に開催しました。小・中学生の思いを聞きながら、100人以上の子どもたちが参加し、一緒に共有できる「子ども会議」はオンラインだからこそ!と感じました。今後もコロナ禍でもできることを、少しずつ模索し行っていこうと思います。



宮前平中学校区

金田 一恵 議長

◆オンラインでの、5校の校長先生・担当教員・父母委員・住民委員・役員の顔合わせ会→なかなか対面で会えない中、お互いの顔が見られるのは、距離を近くに感じることができました。

- ◆地域教育コーディネーター設置に向けて、教育委員会と役員での意見交換会(2回)

- ◆出席可能な全委員での定例会開催

上記に加え、コロナ禍でも、地域の皆さまに少しでも明るい気持ちになっていただきたく、広報紙(富士見台小の50周年と、地元宮前平中学出身で今年箱根駅伝総合優勝の青山学院で昨年度主将の神林勇太さんからの、希望に溢れた書面インタビュー記事)を発行準備中です。

野川中学校区

横山 和夫 議長

- ◆地域清掃

毎年11月終わり頃に落葉が落ちるのを見計らって野川中学校生徒、各学校先生方、PTA、地域住民の方々で行います。この清掃を通じて地域の皆様と生徒さんとの交流が深められた事と、清掃活動を行う事で野川をキレイにしよう意識が高まると思います。その事によって不法投棄問題、ポイ捨てなどを含めて、地域の方々の目を光らせながら、野川の安心安全にも繋がっていくと思います。そして地域清掃を通じて野川地域住民の幸せを思う心が今まで以上に芽生えると思います。



犬蔵中学校区

宮本 太一 議長

- ◆犬蔵の森で遊ぶう食べよう!

学校の裏山で竹や木の実を集めて昔遊びをします! お昼にはつきたてのお餅を子どもたちが竹を切ったり削ったりして作ったお椀で頂きます!



- ◆EMI ダンスチーム

犬蔵中学校区のメンバーで構成された元気一杯!の舞祭ダンスチームです。地元の行事や高齢者施設、各地の舞祭イベントなどで活躍しています。



有馬中学校区

川腰 賢司 議長

- ◆子ども会議を開催しました。

- ①自分たちが学校のため取り組んでいること
- ②地域の方との交流に係ること
- ③大人にお願いしたいこと

の三つについて意見を出し合いました。今回は感染症対策としてオンライン開催としましたが、初めてとは思えないほど積極的に意見を交換する姿が見え、地域の方々にも意見を伺いながら、有馬中学校区の魅力やよくしていこうとする意見を互いに出し合い有意義なものとなりました。

